



ほうさいカフェinしずおかの
問い合わせは
全労済インフォメーションセンター
054-254-1180まで



- | | | |
|------|--------------------|--------------|
| 最優秀賞 | おい何処だ 備えのリスト 喧嘩種 | 鈴木のぶ江(磐田市) |
| 優秀賞 | 中身より 日付で選ぶ 非常食 | 岩田光雄(焼津市) |
| 優秀賞 | 子の老後 案じ備える 高齢者 | 杉浦鈴子(磐田市) |
| 優秀賞 | 金もなし 寒さに備え 猫を飼う | 福崎敦子(静岡市駿河区) |
| 優秀賞 | オレオレは 老後の備えが ターゲット | 小石美代子(裾野市) |
| 優秀賞 | 核のゴミ 備え無いのに まだ貯める | 土屋周治(伊東市) |



県退福協・ろうきんグリーン友の
会県連絡会共催(ライフサポートセ
ンター友の会後援)の第9回の川柳
募集は、昨年11月1日から29日までお
題を「備え」として募集しました。今
回も256点と、大変多くの方から
ご応募いただきました。

第9回

入選作品が決定しました

講評

お題「備え」辞書などに依り
ますと、将来(又は近く)起こ
ることに、うまく対応できるよ
う条件を整えておくこととあ
ります。これを作句の上から考
えますと、大きくは防災のこ
と、老後のこと、子供のことな
ど細かくは、明日の旅行のこ
と、夕飯の支度などなどと言え
ます。そんな中から、明るく又
前向きな作品をいただきました。
川柳を作る時は、「のびの
び、自分の気持ちをストレート
に表現して欲しい」と多田先生
は話していました。

12月12日に川柳審査会を開
催し、左上の作品が入選しま
した。また、1月22日に表彰式
を行いました。

伊東熱海地区統合10周年記念集会 「新春のつどい」開催



伊東熱海地区労福協は、伊東地区、熱海地区の両
労福協が2003年11月に統合して発足しました。統
合10周年の記念事業について幹事会で検討を重ね、①記念のクリアファイル作製、②ささやかなが
ら10周年を祝う集会の開催、の2つを決定しまし
た。②について、例年開催している「新春のつどい」
を記念集会として位置づけることとしましたが、
開催地も伊東から熱海に移し、熱海地区の組合員
も参加しやすいように、との案が採用されました。
熱海は、50年前に県労福協の結成総会が開催され
た場所でもあり、10周年の歴史を刻む地として申
し分ありません。かくして1月24日、「2014年新春の
つどい」がKKRホテル熱海にて開催されました。

例年より多い76名の参加者を得て、庭野事務局
長の司会で進行、小島副会長が開会の辞をのべ、土
屋会長が10年を振り返りました。続いて、来賓とし
て田邊熱海市副市長に挨拶いただいた後、中央労
福協の高橋均氏に「労働者福祉運動の理念と歴史、
そして課題」というテーマで講演いただきました。

観光を主産業とする当地区では、昨年をつどい
で講演「伊豆半島ジオパーク」を実施するなど、
テーマに工夫を重ねてきましたが、今回の集会で
は、統合10周年の節目に、労福協運動の原点を確認

し合おうという趣旨から、高橋氏に講演をお願い
しました。高橋氏の講演は県内各地区の自主福祉
討論会でもお聴きの方が多いと思いますが、たい
へん幅広い内容で、参加者は初めて耳にすること
の多さに、新鮮な驚きをかくせませんでした。

講演後は、山本特別幹事が乾杯の音頭を取って
懇親会が始まりました。テーブルごとのチーム対
抗で行ったダーツゲームが大好評! 高橋講師、金
指県労福協専務理事にも参加いただき、杉山副会
長が絶妙の仕切りで盛り上げ、豪華賞品を皆さん
にお持ち帰りいただきました。賞品には、熱海市が
力を入れている熱海ブランド「ATAMI
COLLECTION A-PLUS」の認定商品もたくさん
含まれ、好評を博していました。閉会の辞は清水副
会長が担当し、10年前の統合設立総会にまつわる
思い出を語りながら、盛会のうちに記念集会を閉
じました。

伊東熱海地区の環境は引き続き厳しいものがあ
りますが、10周年を機に労福協運動の原点に立ち
返り、地域の勤労者福祉を追究してまいります。伊
豆縦貫道も整備されました。皆様、伊豆においでく
ださい。お待ちしております!

ロッキーカレッジのご案内

【楽しく食べて、健康に!】参加者募集!



食事を楽しむことの大切さや、コレステロール、カルシウムとからだのメカニズム、肥満とやせ過ぎがもたらすリスクなどについて、マヨネーズやドレッシングの研究開発をしていた方から詳しく学びます。

- ◆日 時 2014年4月19日10時～12時
- ◆会 場 ALWFロッキーセンター
- ◆募 集 50名
- ◆参加費 無料
- ◆講 師 飛田昌男さん
(キューピー株式会社 人事本部所属)
- ◆申 込 ライフサポートセンターしずおか中部事務所
TEL054-270-3963

supported by 愛は食卓にある。キューピー

セカンドライフを応援する連続講座【今からはじめる老い支度】参加者募集!

セカンドライフを考えることは、「これからの人生」を豊かにします。誰でもいつかは迎える老い、第二の人生をどうデザインするか、あなた自身が望むものは何か。あなたの老い支度を、前向きに有意義に過ごすためのヒントをみつけてみませんか?

沼津6/4(水)
浜松6/12(木)

私の人生パワー全開 講師: 泉♥アキさん

タレント。昭和42年『恋はハートで』で歌手デビューし『夕焼けのあいつ』が大ヒット。『独占女の60分』では、独特のキャラクターで脚光を浴びタレントとして活躍。車の運転が趣味だったことからFIA国際ライセンスを取得、日本人女性初のアフリカ・サファリラリーに出場、16位で完走を果たす。2度の乳がんは、持ち前の明るさとパワーで克服。現在、熱海市に居を構え、農業や家造りにいそしみ、スローライフを楽しんでいる。



素敵な人生の締めくり方(終活) 講師: 武藤 頼胡さん

一般社団法人終活カウンセラー協会代表理事。明海大学ホスピタリティツーリズム学科外部講師。「終活カウンセラー」の生みの親。『終活』という考えを普及するべく、全国の公民館や包括支援センターでセミナーを行う。自身も終活カウンセラーとして活動しながら、「終活」についての大切さを一般目線で伝えるため、毎月巣鴨、浅草でアンケート活動の実施やその年代の方からの相談を受ける。テレビ、新聞、雑誌などメディアへの掲載多数。



沼津6/11(水)
浜松7/4(金)

これからの家族と葬送・供養のあり方(現代葬儀・お墓事情)

講師: 井上 治代さん

東洋大学ライフデザイン学科教授、NPO法人エンディングセンター理事長。単行本や新聞、雑誌を媒体に執筆や評論活動を行うとともに、大学で「いのちの教育」や「家族社会学」などを教える。また、尊厳ある死と葬送をめざしたNPO法人エンディングセンターの理事長として、市民団体の活動を続けている。一昨年は、同団体の関西初めでの樹木葬「桜葬」が案内され話題となった。



会 場: 沼津 / 沼津労政会館 浜松 / 浜松労政会館 時 間: 13:00～15:00 参加費: 各回500円
申 込: (株)コープライフサービス TEL0120-878-940(平日9時～17時30分)
お申込は、お電話での受付のみとなります。静岡開催は、10月を予定しております。

開催報告

詳しくはwebで!!

【♪支える人のケア♪】(2013/12/7 ALWFロッキーセンター)

身近な人の病や介護等で悩みを抱えたり、疲れを感じている支える側の人
が少しでも元気になれるよう、悩みを抱えすぎないためのアドバイスと音楽鑑賞で癒しを感じていただきました。

第一部 『あなたが"まいって"しまわないために』

静岡県立静岡がんセンター腫瘍精神科部長 松本晃明先生

第二部 音楽鑑賞『生演奏で癒しの時間』

稲木良光とロイヤルジャパンアンサンブルのみなさん



【おやこおこづかい教室】

(2013/12/14 ユーコープさんじの店)

「こづかいゲーム」を通じ、お金の大切さや
お金を使う難しさを親子で体験。欲しいもの、必要なものの違いや、手に入れるための「お金のやりくり」を学び、最後は終了証とこづかい帳をもらいました。



【スマートフォンをはじめる前に知っておきたい3つのポイント】

(2014/1/25ユーコープ三園平店・2/1ユーコープ国府台店・2/15ALWFロッキーセンター)

今さら聞けないスマートフォン。「携帯とスマホの違い」「利便性とリスク」「LINE」の3点を中心に、NPO法人イーランチ 理事 桑原光子さん・中田順子さんより詳しく説明。携帯はインターネット付き携帯電話、スマホは電話機能付き小型パソコンと表現、便利な反面間違った使い方をすると高いリスクを伴うことについて触れました。スマホと上手に付き合う為には、個人情報を常に意識し、過度に依存せず主体的に使いこなしていくことが必要と締めくくりました。



日常生活で起こるトラブルや悩みごと等のご相談に応じます。お気軽にご利用下さい。



- ★暮らし何でも相談
消費生活、家庭、労働、子育て、介護、年金、住まい、多重債務、融資だけでなく、生きがい、生活設計、ボランティアなど、充実して暮らすための相談なども結構です。
- ★豊富な相談協力ネットワークにより、適切な専門機関をご紹介します。
(弁護士、司法書士、行政機関、社会福祉協議会、金融機関、NPO団体等)
- ★相談は原則無料
- ★県内6箇所のセンターで相談に応じます。

相談ダイヤル

受付は平日
9:00～17:00

東部: 055-922-3715 西部: 053-461-3715
中部: 054-273-3715 中東遠: 0538-33-3715
しだはいばら: 054-646-6055
岳南: 0545-51-3715

●「ALWF(アルフ)ロッキーセンター」のご利用をお待ちしております!!

会議室の利用方法や料金等のお問い合わせ、
お申し込み等は下記で承ります。

■問合せ先

公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会
ALWFロッキーセンター

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館3階

TEL 054-273-3000 FAX 054-272-7326



ALWF ロッキーセンター

人物登場

地区労福協事務局長のリレートーク No.12

タキヤマ ハルヨシ
滝山 晴良さん
島田榛北地区労福協 事務局長

出身組織：大井川鉄道労働組合
役職名：執行委員長

- ①趣味：映画鑑賞
- ②モットー：何事も楽しみながら
- ③最近感動したこと：「映画永遠の0」
- ④最近失敗したこと：呑んでいてグラスを倒し、同僚のズボンをびしょ濡れにさせたこと



今回は、滝山事務局長の1日を追ってみました。

「おはよう」彼は、車両区内にある2階の電気区事務所に出勤して来た。彼は専従ではなく仕事をしながら組合活動をしている。

事務所の窓からは、富士山と罐焚きが始まったSLの眺め「皆さんうらやましがりますよ。」本当にテツでなくてもいい眺めだ。

役職は区長代理、五人の作業班のリーダーである。出勤する若手区員に今日の仕事の指示を出す。本日の作業は、トロリー線の高さ・摩耗の測定だ。電柱下と電柱間の中心距離での測定。「全線測るんですか？」の質問に、あっけらかと「全線歩いて測ります」と返事、40kmを2週間掛けて測るそう。まさに地道な作業で鉄道が保守されているのかと、実感した。

今日のお昼は現場だ。駅間の線路沿い河原での昼食、「毎日が遠足みたいだよ。」と笑顔で話してくれた。大自然の中でのお昼は解放感がありオフィスで食べるより何とも贅沢だ。ただ、寒いのを除けば・・・。

彼のお弁当箱は井川メンパだ。中にはぎっし

りとご飯が詰められた昔懐かしい日の丸弁当。「SLと一緒にレトロですね」の問いかけに、苦笑いしながら「そうですね」と、口に箸を運んでいた。梅干しは自家製で市販のものより実が大きく紫蘇色に綺麗に染まっている。ものすごくおいしかった。

夕方、現場での作業を終えると事務所に戻り、日報や雑務をこなし、組合に足を運び、就任間もない書記長と共に組合業務に就く。書記長の質問に的確な答えを返ししながらメール・ファックスの確認や、資料の読み込みなど集中しておこなう。「大変ですね」と声をかけると、「自分なんてまだまだですよ。非専従の組合ですから自分たちがしっかりしないと、って想いはありますよ。」と力強い言葉が返ってきた。「だけど、未だにわからないことだらけですよ」と本音を漏らす。書記長に「どんな人ですか？」と訊ねると、「いつも何かやっている人で、人付き合いががいいです。」と返ってきた。

「お疲れ様」時計が午後7時半を回って組合事務所を後にする。家路に着くのかと思いきや、今から金谷茶まつりでの屋台踊りの練習に行くという。教えてはくれなかったが、茶まつりでも何か役職に就いているらしい。「実際、当日には踊れないんですけど、どうせなら踊れるほうがいいじゃないですか。踊れる時があるかもしれないし」そう言って、体育館に入って行った。屋台踊りは5曲、お世辞にも軽快とは言えないステップだが、懸命さだけは伝わってくる。冬の夜に彼は汗だくだ。ストレス解消になっているのでは、と感じる。

9時を回り今度こそ家路に着くかと思えば、中2になる息子の野球練習の迎えに行くという。「休日は子供のプレーに一喜一憂ですよ」目じりが下がりがりながら語ってくれた。聞けば、キャプテン、高2の次女もバレー部のキャプテンだという。親を見て育っているなと感心させられた。

最後に「忙しい1日ですね」と訊ねてみた。「そうですか。何事も楽しんでやってますからそう感じませんよ」と返された。彼は忙しさを楽しみに代えて生活しているんだと強く感じた1日でした。

運動継承！

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

4回シリーズ
その4

菅沼 隆

(元県労福協 事務局長)



もくせい事業協会の設立も意義ある活動です。労福協が1万人を対象とした「福祉アンケート」の結果は、今後早急に高齢化社会を迎えることを反映して福祉施設が必要だと多くの方が関心を示しました。第15回の定期総会において「軽費老人ホーム」の建設を決議し、浜松市三方原台地に、聖隷福祉事業団を設置者として「経費老人ホーム」建設することを合意しました。昭和54年1月に「もくせいの里」を開所しましたがその後、運営の難

しさに直面しました。現在は、聖隷福祉事業団にその運営等引継がれました。とにかく軽費老人ホーム建設について、昭和52年5月に決議し、わずか3年でスタートさせた労福協の起動力は高く評価されます。

未組織勤労者対策では労福協がその役割を担ってきました。そして、労金・全労済への利用拡大に貢献してきました。

県都に一つの枠である労働者の勤労福祉センターの建設は、その資金を含め県並びに該当市の協力がなくてはなりません。

難産の末、平成13年に清水駅南口に名称「清水テルサ」として開設されました。勤労者の余暇を活用した教養施設を始め健康づくり等に役立っています。

続いて、昭和63年頃より勤労者リクリエーション施設の建設を検討してきました。テニスコート・キャンプ場・ゴルフ場・等々勤労者が余暇を気軽に安価に利用でき

ることを目的に静岡県に要望し調査費を2年続けて受けて来ました。適切な場所が無く、また、経済状況も悪くこの計画は夢で終わりました。このような取り組みも記録として残しておきたいと思っています。最後に特徴的な取り組みを主体に紹介してきましたが、活動の前半は私の前任者である、事務局長、戸倉哲男さんの発想力と行動力があつてのことであり、その功績は偉大なものです。

労福協の基本理念は、労働者の社会的地位の向上にあると思います。労働者福祉基金協会の役割は、その一端を担っていると思います。が、いま一度労福協設立の意義を再認識して欲しいと思います。時代が変わった今日、その方針の変化は当然考えられることですが、目的を失うことなく指導性を以って発展されることを強く要望するものです。

(1年間、寄稿ありがとうございました。)